

① 基山町への新しい「しごと」の流れをつくる

■トカイナカ産業振興プロジェクト（プロジェクト番号1）

② 特産品等販路拡大事業

九州最大の利用客を持つ基山パーキングエリア内にあるリアル店舗「ふるさと名物市場」での町外への情報発信拠点を活かして、町の特産品の販売を通じて販路拡大の支援を行った。また、年間を通して町内外15のイベントに出展し、特産品等のPR・販路拡大に取り組んだ。

④ 地域連携農業促進事業

農業の新たな担い手が、基山町で農業を始められる又は規模拡大ができるように農地所有者とのマッチングや地域農業者及び関係機関への橋渡しなどを行った。また、町内の新たな担い手である農業法人と放送業界の事業者との相互に協力・連携するプロジェクトにおける町内でのイベントに対して支援を行った。

■企業支援プロジェクト（プロジェクト番号2）

① 雇用創出事業

高校と連携したインターンシップ事業を実施し、町内企業等への視察を実施した。また、高年齢者を含む多様な世代の雇用促進と包括的な支援のため、基山町生涯現役地域づくり環境整備部会を基山町産業振興協議会内に組織し、町内外30社による合同企業説明会を実施したところ、300人余りの参加があった。

② 基山町への新しい「ひと」の流れをつくる

■交流人口・関係人口増加プロジェクト（プロジェクト番号3）

② おもてなし環境整備事業

特別史跡基肄城跡をはじめとする本町の歴史的風致に関わる建造物などへの誘導のために案内サイン1基を設置した。なおサインには、QRコードを併記して多国語対応とした。

■まちの集客拠点活用プロジェクト（プロジェクト番号4）

② まちの交流拠点整備活用事業

基肄城跡南門跡及び山頂地区、遊歩道の整備の基本設計を策定した。また、基肄城跡南門跡周辺の立木伐採、剪定と看板の貼り替えを行い、基肄城内の分岐点に案内サインの設置を行った。

■歴史・観光資源活用プロジェクト（プロジェクト番号5）

④ まちの宝「きざん」事業

オキナグサの見頃を発信し、4月中旬にオキナグサ見学会を開催すると共にオキナグサ保存会で保存活動に努め、魅力向上に努めた。

③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

■婚活応援プロジェクト（プロジェクト番号6）

① 婚活応援事業

婚活イベント（「寺婚」男性12名、女性12名参加、14組マッチング（第3希望まで）成立）を開催し、婚活のサポートを実施した。

■子育て支援プロジェクト（プロジェクト番号7）

③ 基山っ子みらい館事業

ファミリーサポートセンター事業において、協力会員が一度に援助活動を行うことができる子どもの人数を1人から2人以上も可能とした。また、その時に発生する利用料について、2人目以降の利用料を半額とした。

⑤ 一体的相談支援事業

妊産婦、子育て世帯、子どもの誰一人取り残すことのない、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制を確立するため「こども家庭センター」を設置するための施設改修等を行い、保健センターへこども課を移設した。

■住宅環境整備プロジェクト（プロジェクト番号8）

② 宅地開発推進事業

夜水地区地区計画・塚原地区地区計画が令和5年4月、倉野地区地区計画が令和5年10月に都市計画決定された。今後、住宅用地としての土地利用が行えるようになる。

④ 安心と安全をベースにオール基山のまちづくり

資料6

■安心安全のまちづくりプロジェクト（プロジェクト番号9）

② ぐらしの安心・安全設備等整備事業

地元区長、地元関係者、関係機関と協議の上、カラー舗装の設置、転落防止柵の設置、区画線の引き直し、車止め（ボラード）・ラバーポールの設置、カーブミラーの修繕・設置、横断旗や飛び出し人形の設置等の交通安全施設の計画的な整備を行った。

■オール基山で考えるみんなの住みたいまちづくりプロジェクト（プロジェクト番号10）

① 『オール基山』推進事業

基山町の最上位計画である総合計画について、令和8年度からの第6次計画策定のため、10月から11月に4種（町内・町外・中高生・職員）のアンケート調査を実施、2月に町民ワークショップを4回開催（182名参加）し、今後10年間の基山町のまちづくりの重要施策や課題について多くの意見をいただいた。

⑤ コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業

基山町の都市構造や多様な移動特性・ニーズ（目的施設・店舗、余裕時間、歩行難易度、荷物の有無等）を踏まえ、利便性・効率性の高い町内移動サービスとして、AI運行システムを活用したデマンド交通の実証実験を実施した。

■デジタルを活用した魅力的なまちづくりプロジェクト（プロジェクト番号11）

② デジタルを活用した行政サービス事業

電子入札システムを導入し、デジタル技術を活用した行政サービスの向上を図った。

③ デジタルを活用した見守り事業

久留米大学との包括連携協定の下、久留米大学が提供する健康統合管理アプリWBFくるめを活用し、高齢者の健康情報を日々記録し、健診情報等を経年的に取り込むことで、健康意識の向上や早期の介護予防等に繋げる。

⑤ 基山力を活かした人材活用と人材育成のまちづくり

■自然と歴史・文化・スポーツ分野での人材活用プロジェクト（プロジェクト番号12）

① 文化財・文化遺産再発見事業

天智天皇欽仰之碑等顕彰建造物90周年として一般の方まで対象とした「基肄城絵はがきコンクール」を実施した。

■まちの未来を担う人材育成プロジェクト（プロジェクト番号13）

② 図書館アカデミック読書推進事業

夏休み図書館事業として、「夏休み宿題おたすけ本の展示」やSDGsワークショップ「ペットボトル風鈴でUVチェック」を開催することで、子どもたちの読書活動の推進や環境意識の増進に努めた。

⑥ 誰もが活躍できるユニバーサルなまちづくり

■みんな元気・健康寿命延伸プロジェクト（プロジェクト番号14）

① ユニバーサル生活推進事業

高齢者等への交通安全教育については、広報等で定期的に交通安全に関する内容を掲載し、交通事故防止の注意喚起を行った。また、高齢者を対象に交通安全講習会を実施し、電動カートの試乗体験などを行った。

■みんなの居場所と役割づくりプロジェクト（プロジェクト番号15）

① 多世代交流拠点活用事業

多世代交流センター憩の家では、高齢者や子育て世代等に食事の提供を行う多世代食堂を毎月第1土曜日に開催し、毎月約100名程度の参加があり、地域のコミュニティ連携の場として取り組んだ。また、食料品を必要とされる方への提供等も行っている。